

## 2022 年度決算説明会における主要な質疑応答

質問	回答
<p>Q1： 航空宇宙事業における 2023 年度受注高の計画が前期比で大幅に増加する理由を教えてください。</p> <p>※22 年度実績：2,539 億円 → 23 年度見通し：4,100 億円</p>	<p>A1： 主に防衛省向け案件（P-1 対潜哨戒機や C-2 輸送機など）の増加を見込むことによるものです。</p>
<p>Q2： 航空宇宙システムにおける 2023 年度計画について、売上収益は前期比で大幅な増収を見込む一方、事業利益は小幅な増益に留まる理由を教えてください。</p> <p>※22 年度実績：売上収益 3,488 億円、事業利益 178 億円 23 年度計画：売上収益 4,400 億円、事業利益 240 億円</p>	<p>A2： 主な理由は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 航空宇宙事業において、 <ul style="list-style-type: none"> <li>①防衛省向けで大幅な増収を見込むため（なお、計画には、昨今の報道にあるような防衛装備品の利益率改善を織り込んでいない）</li> <li>②特定プロジェクトにおける取引先との契約変更により、前期比で利益率が悪化するため</li> </ul> </li> <li>• 航空エンジン事業において、増収に伴う増益を見込むも、採算性の低い航空エンジン本体の売上台数が増加し、セールスマックスが悪化するため※</li> </ul> <p>※民間航空機向けエンジンは、アフターセールスで収益を大きく獲得するビジネスで、エンジン本体の売上増により採算性が低下</p>
<p>Q3： エネルギーソリューション＆マリンにおける 2022 年度の事業利益（39 億円）が、前回公表値（55 億円）よりも下振れた理由を教えてください。</p>	<p>A3： プラント事業の一部環境案件において、見積りよりも採算性が悪化し、受注工事損失引当金を計上したことが主な理由です。</p>
<p>Q4： パワースポーツ＆エンジンにおける 2023 年度の事業利益計画が、前期比で 245 億円の減益となる理由を教えてください。</p> <p>※22 年度実績：715 億円 → 23 年度見通し：470 億円</p>	<p>A4： 減益の主な理由は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 為替前提を前期よりも円高で想定しているため ※売上加重平均レート (USD/JPY) '22 年度実績 133.96 '23 年度計画 130.00 (EUR/JPY) '22 年度実績 141.38 '23 年度計画 140.00</li> <li>• 販売の好調継続を見込む一方、サプライチェーン問題の解消により、業界全体の市中在庫が充足したことから、一定の販売促進費が必要と見込んでいるため</li> <li>• 北米向けオフロード四輪車の増産投資に伴う固定費の増加が見込まれるため</li> </ul>